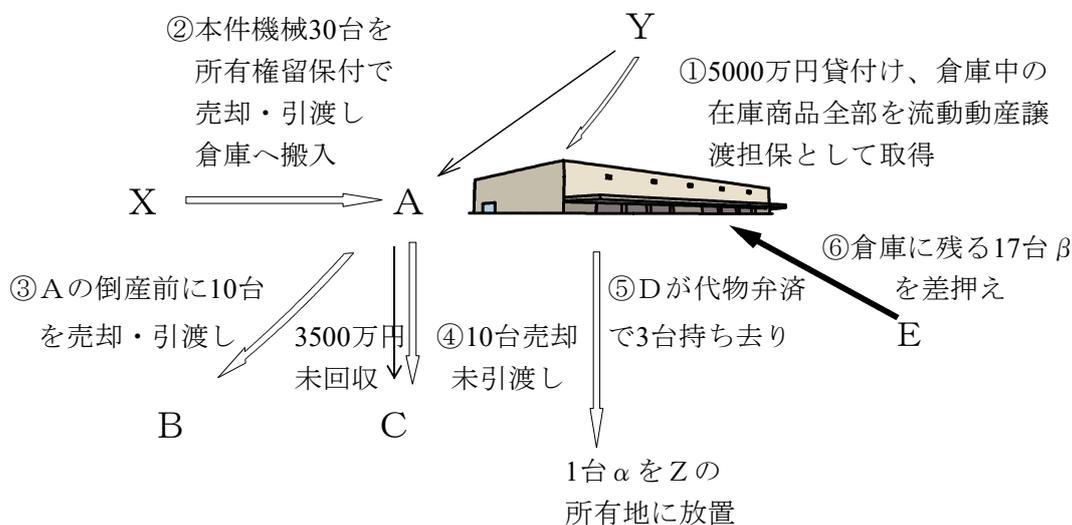


第4回 所有権留保の参考資料

2018/09/18

【当事者関係図】



【本日は及する(可能性のある)判例・文献】

◎判例

- 1) 最判昭42年4月27日判時492号55頁
- 2) 最判平18年7月20日民集60巻6号2499頁

◎学説

- 1) 近江幸治『担保物権 [第2版補訂]』(成文堂、2007年) 327頁
- 2) 安永正昭『物権・担保物権法講義 [第2版]』(有斐閣、2014年) 438頁
- 3) 松岡久和「差押債権者の実体法上の地位(下)」金法1401号(1994年) 24頁以下
- 4) 柚木馨＝高木多喜男編『新版注釈民法(9)物権(4) [改訂版]』(有斐閣、2015年) 669頁 [福地俊雄・占部洋之]
- 5) 池田真朗「ABL－『生かす担保論』後の展開と課題」NBL975号(2012年) 32頁以下
- 6) 佐久間毅『民法の基礎2』(有斐閣、2006年) 308頁
- 7) 舟橋諄一＝徳本鎮編『新版注釈民法(6)物権(1) [補訂版]』(有斐閣、2009年) 201頁 [好美清光]
- 8) 和田勝行・百 I 204頁

【項目レジュメ】

- (1) 債権契約の効力
 - Aからの所有権移転の可否
 - 即時取得の成否
 - 担保権的構成による場合の所有関係
 - 即時取得が成立しない場合のBらの地位
 - 流通過程における所有権留保
 - 転売授権による所有権取得の可否
- (2) (a) 所有権留保と流動動産譲渡担保の優劣
 - 流通過程における所有権留保（再論）
- (b) 所有権不移転構成の場合
 - 担保権的構成の場合
 - 差押債権者の保護
- (3) 所有権留保に基づく物上代位の可否
 - 約定担保の可能性
- (4) 物権的請求権の場合の妨害者・侵害者
 - α の所有権の所在
 - 妨害排除請求の被告